
聖翔学園物語

榎鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

聖翔学園物語

【Nコード】

N4388I

【作者名】

榎鈴

【あらすじ】

六つの財閥が支配する世界、六星都市。

その都市にあり、生徒会が強い実権を持つ聖翔学園を舞台に、さまざまな事件が起こります。。。 (予定デス。^^;)

序章

六聖都市、否、世界は文字通り六つの財閥によって支配されていた。

国家はそれぞれが首相、または象徴的な存在を置き、その存在をアピールしてはいたが、

六財閥の力なしにはその存在すらも危うい、もろいものであった。

故に、六財閥は経済はもちろん、各国の政治に対しても、直接ではないが強い発言力をもつ。

それらの財閥の支配者は総帥、またはトップと呼ばれる。

財閥内にて総帥に次ぐ権力の保持者は、セカンドと呼ばれていた。各財閥とも、セカンドは十数人存在し、総帥の補佐という形をとっている。

そのセカンドの補佐は、サードと呼ばれていた。

そこからは無数に枝分かれしており、その規模、人数等を完全に把握しているのは六人のトップ、そしてセカンドたちだけであろう。

ここ六聖都市は、そんな世界の中でも、最も重要な役割をもつ場所である。

なぜなら、六つの財閥全てが、ここに本拠地を置いているのだから
|。

物語の始まり。
(前書き)

始まりはここから。

物語の始まり。

六財閥の一つ、『篠宮』。

篠宮は六つの財閥の中でも特に力をち、『羽柴』と呼ばれる財閥に次ぐと言われている。

その篠宮の総帥には、後継者としてすでに父の片腕となっている息子、そして娘がいた。

日々多忙を極める篠宮の総帥は、久方ぶりの休日进行娘・優とともに過ごしていた。

年齢を重ねるにつれ今は亡き母親に似つつある優に、人並みならぬ愛情を注いでいた。

「お父様」

少女が振り返った。スカートがひるがえり、風をはらむ。

同時に、背中まである長い黒髪も揺れた。

つややかな唇をペロリとなめ、端正な容貌に笑みを浮かべる。

視線の先にいるのは、もちろん彼女の父親である。

彼は苦笑を交えてなんだと聞いた。

彼にはもう分かっていいるのだ、彼女が何か「お願い」をしてくるのだ、と。

彼の期待を少しも裏切ることなく、優が紡いだ言葉はこうだった。

「お願いがあるんだけど・・・」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4388i/>

聖翔学園物語

2010年12月19日07時22分発行